

各都道府県中学校体育連盟御中  
全国中学校体育大会開催地実行委員会御中  
競技部長各位

(公財)日本中学校体育連盟  
会長 齊藤正富  
(公印省略)

## 熱中症対策のお願い

今年は梅雨の時期、線状降水帯による大雨で河川氾濫や土砂崩れが発生し、甚大な被害となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

7月に入り、初旬から気温の高い日が続いております。このような気象状況下ではありますが令和5年度全国中学校体育大会は、四国ブロック4県での開催に向けて準備を進めているところです。

7月28日には、部活動練習後帰宅途中の中学生が熱中症の疑いで死亡するという痛ましい事故が発生しました。各学校では、部活動の練習も日中の暑い時間帯での活動が多くなっている状況であると思います。熱中症対策について万全の注意をはらっていただきたいと思います。

(公財)日本中学校体育連盟として、夏季休業中及び各大会における熱中症の対策として、下記のような取組をお願いいたします。

### 記

- 日々の練習において、  
生徒たちに対し、小まめな水分補給、体調変化への気配り、無理に頑張りすぎないことなどの指導を徹底してほしいと思います。  
また、指導者は気象情報等に注意するとともに、休憩時間の確保、水分補給への声かけ、生徒の観察など十分に行い、個々の生徒に応じた対応をお願いいたします。WBGT値によっては、活動を確実に中止する判断が重要になります。
- 大会において  
これから都道府県選手権大会、ブロック大会と大きな大会が続くこととなります。大会主催者として、熱中症予防の観点からの運営をお願いいたします。
  - 選手・審判等競技役員  
生命、安全を第一に守ることが基本となります。競技会場の環境や気象状況から判断し、選手・審判・競技役員等への水分補給や休憩時間の確保及び会場の換気や散水などを行う判断をお願いいたします。
  - 観客・応援者  
観客・応援者に対し、給水の呼びかけを何度も放送や案内プラカード等で行ってください。帽子やタオル等で頭・首付近を覆うことの呼びかけも必要です。また、気分が悪い場合は日陰に移動して休養することや大会本部に連絡することもアナウンスすることが必要です。
  - 大会本部  
下記のような準備・注意をお願いいたします。
    - ①可能な限り冷房のある休憩室を確保
    - ②WBGT値を測定する熱中症指標計を準備し、データの確認
    - ③環境省熱中症予防情報サイト、日本スポーツ協会熱中症予防ガイドブック、大塚製薬ホームページ熱中症サイト等よりデータ収集と今後の予測の確認
    - ④体温計、血圧計の準備
    - ⑤補水液、スポーツドリンク等の用意
    - ⑥可能ならば、医師・看護師・養護教諭を配置